



Advancing beyond

第100 期中間報告書

2025 年 4 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日まで

アンリツ株式会社

www.anritsu.com/ir

100th
Interim Report

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

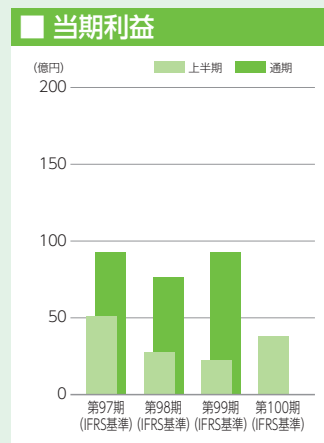
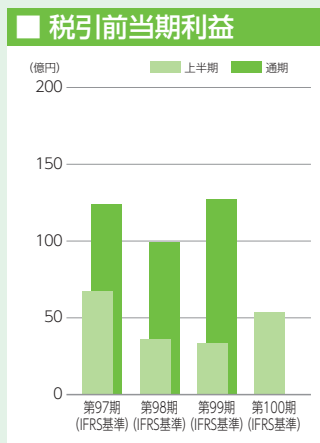
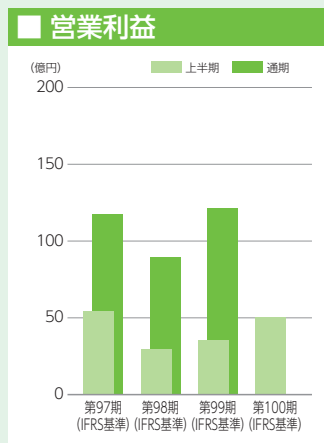
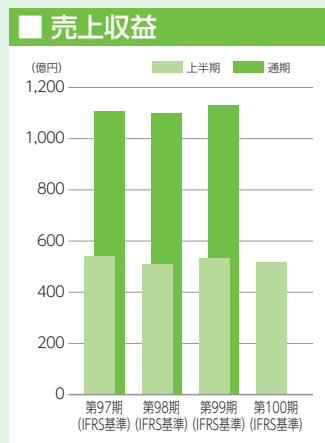
ここに第100期上半期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の事業の概況並びに決算の状況をご報告申し上げます。

今後ともなお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2025年12月

社長・グループCEO

濱 田 宏 一



事業の概況

■ 当社グループを取り巻く事業環境

通信計測事業の主要市場である情報通信分野においては、世界的にスマートフォンの出荷台数が回復しており、AIを搭載した高性能スマートフォンなど今後の市場の活性化が期待されます。

5G利活用の領域では、Automotive分野での5G活用に向けた研究開発が進展しており、実証実験が継続されています。IoT (Internet of Things) 分野では、Wi-Fi 7^{(*)1} の開発需要が増加しています。衛星を用いた通信サービスの非地上系ネットワーク (NTN:Non-Terrestrial Network) では、4GシステムのNB-IoT (Narrowband IoT) を用いる端末もリリースされ、関連した開発の需要が見込まれます。また、2024年6月に標準化が完了した「Release 18」^{(*)2} では、IoT向けのeRedCap (enhanced Reduced Capability) や5G NR (New Radio) を用いるNTNなどで機能の向上が図られ、チップセットや端末への対応が進められています。さらに、3GPPにおいて次世代の通信規格である6Gの仕様についての議論も始まり、研究開発も行われています。

ネットワークインフラの領域では、クラウドサービスの高度化や生成AIの普及拡大によるデータ・トラフィックの急増に対応するために、データセンターの新設及び大容量化が加速しています。800GEネットワークへの更新が本格化しており、光デバイスメーカーでの800GE向け光デバイスの生産増強が進展しています。また、ネットワーク機器メーカーにおいては、PCIe (Gen5/6)^{(*)3} などのハイスピードバスの開発が進展しており、1.6TE向けの光デバイスの開発が始まっています。さらに、データセンターのグローバル接続として、新たな経路での光海底ケーブル敷設が、ハイパースケーラーによって進められているほか、ネットワークの

オール光化を目指すIOWN^{(*)4} の活動も活発化してきています。

PQA事業の分野においては、食品メーカーの人手不足の影響からX線を用いた異物混入検査や包装品質検査などの品質保証プロセスの自動化、省人化に係る投資が継続しているほか、日本市場における計量制度改正を背景とした自動重量選別機の需要も好調に推移しています。

- (*)1 第7世代のWi-Fi規格、第6世代 (Wi-Fi 6) の使用帯域幅160MHzを320MHzまで拡張し、高速化を実現
- (*)2 3GPPで標準化される規格番号
- (*)3 第5/第6世代のPCI Express規格 (シリアル転送方式の拡張スロット用インターフェース規格)
- (*)4 Innovative Optical and Wireless Networkの略で、IOWN Global Forumが検討を進めている、オール光ネットワークなど革新的技術を用いた新しい通信基盤

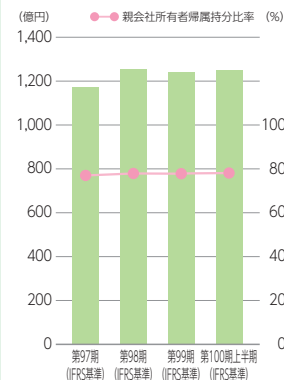
■ 当上半期の業績概要

このような環境のもと、当上半期は、受注高は550億30百万円 (前年同期比2.9%増)、売上収益は516億93百万円 (前年同期比3.0%減)、営業利益は50億32百万円 (前年同期比40.7%増)、税引前中間利益は53億56百万円 (前年同期比58.4%増)、中間利益は38億9百万円 (前年同期比70.2%増)、親会社の所有者に帰属する中間利益は38億9百万円 (前年同期比70.2%増) となりました。

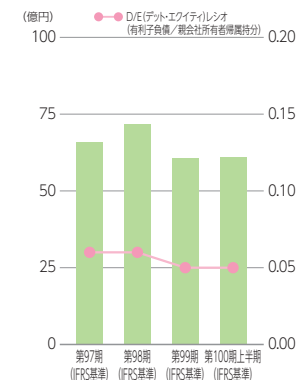
■ 株主の皆様への中間配当

以上の結果、株主の皆様への中間配当につきましては1株につき、20円とさせていただきます。

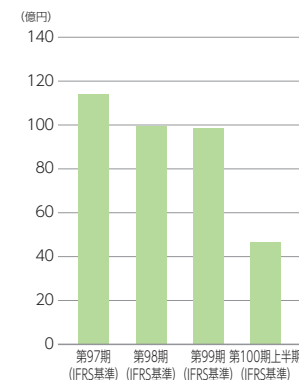
■ 親会社の所有者に帰属する持分合計・親会社所有者帰属持分比率



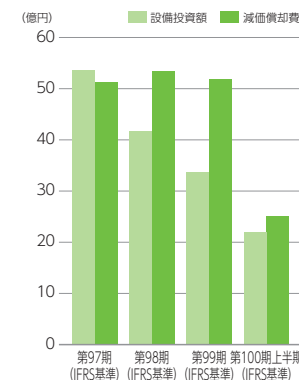
■ 有利子負債・D/Eレシオ



■ 研究開発費 (注.1)



■ 設備投資額・減価償却費 (注.2)



(注.1) 研究開発費は、一部資産化した開発費を含め研究開発費投資額を記載しております。

(注.2) 設備投資額は、無形資産に計上した資産化開発費は含めておりません。

減価償却費は、無形資産に計上している資産化開発費の償却額は含めておりません。

事業部門別の状況

通信計測事業

●売上収益	309億33百万円	(前年同期比	9.0%減)
●営業利益	39億47百万円	(前年同期比	55.3%増)



5G端末開発用測定器



高速インターフェース評価用測定器

PQA(プロダクツ・クオリティ・アシュアランス)事業

●売上収益	145億38百万円	(前年同期比	11.9%増)
●営業利益	14億54百万円	(前年同期比	37.2%増)



X線検査機



金属検出機

環境計測事業

●売上収益	29億36百万円	(前年同期比	16.8%減)
●営業損失(△)	△97百万円	(前年同期比	—)



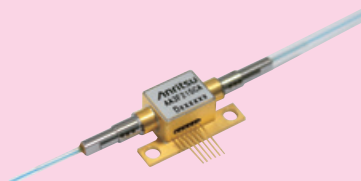
帯域制御装置



双方向直流電源

その他の事業

●売上収益	32億84百万円	(前年同期比	17.2%増)
●営業利益	7億40百万円	(前年同期比	17.7%増)

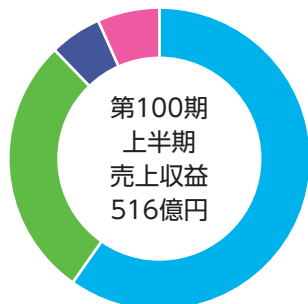


半導体光増幅器



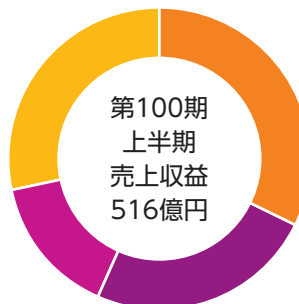
波長掃引光源モジュール

事業部門別売上収益内訳(連結)



通信計測	30,933百万円	(59.8%)
PQA	14,538百万円	(28.1%)
環境計測	2,936百万円	(5.7%)
その他	3,284百万円	(6.4%)

地域別売上収益内訳(連結)



日本	16,750百万円	(32.4%)
米州	12,624百万円	(24.4%)
EMEA	7,730百万円	(15.0%)
アジア他	14,586百万円	(28.2%)

(EMEA：欧州・中近東・アフリカ)

トピックス

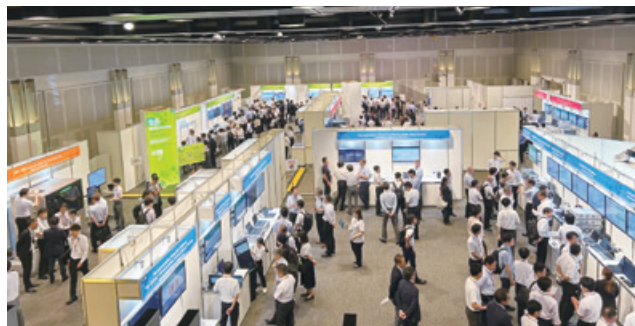
■20年ぶりの総合技術展「TECHNO PLAZA 2025」を開催

7月10日、11日、東京都江東区のTFTホールにて、アンリツグループの次世代のソリューションとテクノロジーを結集した展示会「TECHNO PLAZA（テクノプラザ）2025」を開催しました。同展示会は20年ぶりの開催となります。2030年2,000億円企業の実現に向けた技術革新と持続可能な未来への挑戦をテーマに、130年にわたり先端分野を切り拓いてきたアンリツグループの英知と想像力を結集した最新ソリューションを紹介しました。2日間合わせて業界のキーパーソン約900人が来訪し、来場されたお客様から「アンリツのビジネス領域の広さ、技術力の高さ、そして先端性に驚いた」とのコメントをいただきました。

持続可能な未来社会を創造するため、アンリツは限界を決めずに挑み続け、新たな市場を切り拓いてまいります。



展示テーマ



会場の様子

■アンリツ130周年記念サイト「130年を超え挑む未来」を公開

アンリツは、今年創業130年を迎えました。この130年の節目に、記念サイトを国内外のWebページに公開しました。記念サイトのタイトルは「130年を超え挑む未来」。このページでは、私たちアンリツが時代の変遷とともに積み重ねてきた挑戦と先進性について、動画やストーリーコンテンツで分かりやすく紹介しています。また、現在の事業内容や社会貢献活動とともに今後のビジョンも掲載することで、ステークホルダーの皆様にはアンリツの信頼の歴史と将来の可能性を感じていただける内容となっています。ぜひ、記念サイトをご覧ください。

今後も、アンリツの強みである「はかる」技術を基盤に、「はかる」を超えてさまざまな領域に挑み続けてまいります。



アンリツ130周年記念サイト



130周年ロゴ

(記念サイトURL) <https://www.anritsu.com/ja-jp/about-anritsu/corporate-information/130anniversary>

記念サイトへの
アクセスは
こちらです。



商 号 アンリツ株式会社
ANRITSU CORPORATION
本 社 神奈川県厚木市恩名五丁目1番1号
(〒243-8555)
創 立 1931年3月17日
資 本 金 192億円
従業員数 4,011名(連結) 1,743名(単独)

代 表	取 締 役	濱 田 宏	一
取 締 役	取 締 役	杉 田 俊	一
取 締 役	取 締 役	島 岳	史
取 締 役 (社 外 取 締 役)	取 締 役 (社 外 取 締 役)	正 村 達	郎
取 締 役 (社 外 取 締 役)	取 締 役 (社 外 取 締 役)	上 田 望	美
取 締 役 (監 査 等 委 員) (社 外 取 締 役)	取 締 役 (監 査 等 委 員) (社 外 取 締 役)	青 柳 淳	
取 締 役 (監 査 等 委 員) (社 外 取 締 役)	取 締 役 (監 査 等 委 員) (社 外 取 締 役)	西 郷 英	敏
取 締 役 (監 査 等 委 員) (社 外 取 締 役)	取 締 役 (監 査 等 委 員) (社 外 取 締 役)	小 林 昭	夫
取 締 役 (常 勤 監 査 等 委 員)	取 締 役 (常 勤 監 査 等 委 員)	天 野 嘉	之

[illegible]

宏昇子一平
幸華賢浩
橋田田村見
高内野中早
事事事事
理理理理
務務務務
常常常常

- ・発行可能株式総数 / 400,000,000株
- ・発行済株式総数 / 135,870,594株
- ・株主数 / 44,592名
- ・株式の所有者別状況



株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	20,194	15.74
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	14,262	11.12
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	3,083	2.40
JP JPMSE LUX RE UBS AG LONDON BRANCH EQ CO	2,595	2.02
住友生命保険相互会社	2,314	1.80
J U N I P E R	2,135	1.66
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	2,093	1.63
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	2,087	1.63
株式会社日本カストディ銀行・三井住友信託退給口	2,000	1.56
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE UKUC UCITS	1,884	1.47
CLIENTS NON LENDING 10PCT TREATY ACCOUNT		

■事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

■定時株主総会 毎年6月開催

■基準日

定時株主総会	毎年3月31日
期末配当金	毎年3月31日
中間配当金	毎年9月30日

そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

■株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

■株主名簿管理人事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063)
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031
(インターネット) ホームページURL
<https://www.smb.jp/personal/procedure/agency>

□座を開設されている証券会社または
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (0120-782-031)
(URL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>

単元未満株式(100株未満の株式)を保有されている株主様は、当社に対し、保有されている単元未満株式の買取請求をすることで売却することができることができます。また、当社に対し、保有されている単元未満株式と合わせて単元株式数となる数の株式の買取請求をすることで単元株式とすることもできます。買取請求・買増請求をする場合は、口座を開設されている証券会社(特別口座に記録されている単元未満株式の場合は三井住友信託銀行)にお問い合わせのうえ、お手続きください。